

交換留学の体験

パリ・シテ大学

ビアンカ・ソレント

2022年4月から2023年3月までお茶の水女子大学で交換留学生として勉強した。この作文で自分の経験をシェアしたいと思っている。この一年は私にとって非常に充実した経験であり、日本語を上達させることができた。

日常生活



1 池袋のポケットモンスター

お茶の水女子大学が都心にあるため、東京都内の移動は非常に便利だ。一番近い賑やかなところは池袋だ。寮はキャンパス内にあり、授業に通いやすく、ラッシュアワーの電車を避けることができる。到着から出発まで、日常生活で常にサポートしてくださって国際課の皆さんに感謝している。一つ重要なことは、留学の最初の3ヶ月間はアルバイトをすることができない。また、アルバイトを始めるには、指導教官の許可が必要だ。お茶の水女子大学の学生たちは、とても歓迎され、親切だ。特にジェンダーやフェミニズムについて、いろいろと自由に話し合えたことがとてもよか

った。前学期には私がお茶の水女子大学のサマープログラムにボランティアとして参加した。私はレクリエーションチームに属していた。日本で初めての仕事経験だった。

授業

授業が始まる前に、文法のテストを受けて結果によって授業を選ぶこと。初級から上級までの授業が受けられる。いいことは、テストがあるにもかかわらず、自分で自由に授業のレベルを選ぶことができる。つまり、チャレンジしてみたいと思っている人がいれば、レベル一個上の授業を受けてみても大丈夫だ。交換留学生とし

ては、日本語のレベルが十分であれば、学部や大学院の授業も受けられる。ほとんどの授業で宿題が多いので、量に注意して選んでください。自分の専門によって、指導教官が決まる。森山先生には、交換留学の期間中、アドバイスやサポートをいただき、感謝している。来日してから、お茶大の先生方の授業のおかげで、私の日本語のレベルはかなり上がった。

旅行

私は3月末に来日したので、幸運にも桜の花を楽しむことができた。中目黒、千代田、新宿御苑など、東京の桜の名所を回った。この一年では、たくさん旅行をした。日本の四季を楽しんだ。春一番好きなバンドのライブを青森へ観に行った。夏は友人と関西を回った。秋には、友人と川越に着物を着た。冬は、草津温泉の温泉に浸って、万座へスキーをしに行ってきた。



私の交換留学は9月で終了する予定だったが、お茶の水女子大学の協力で、1学期延長してもらえることになった。その点については、国際課の大野さんをはじめ、お世話になった先生方に大変感謝している。また、一年間お世話になった森山先生にも感謝している。